

## 長浜市市民協働推進会議からの答申について

### 1 諮問（令和元年5月31日）

- ・ 社会構造の変化に対応する持続可能な地域社会づくりをより一層スピードをあげて進めていくため、長浜市における市民活動のさらなる活性化と多様な協働の推進を目指した「市民協働のまちづくり推進のあり方」について、長浜市市民協働推進会議に諮問

### 2 審議（令和元年5月31日～12月25日）

- ・ 諮問内容について、計8回の会議を開催し、活発かつ慎重な審議が行われた

### 3-1 答申（令和2年1月9日）

- ・ 持続可能で活力ある地域社会を実現していくため、総合的、計画的に、市民協働のまちづくりが推進できるよう、「(仮称)長浜市市民協働のまちづくり推進条例」を制定するとともに、市民協働の推進に必要な仕組みづくり等にあたっては、本答申の趣旨を最大限尊重し、着実かつ迅速に推進されたい

### 3-2 答申内容

- ・ 市民協働の新たな仕組みと体制構築が急務であり、地域課題の解決に必要な以下の9つの仕組みづくりを推進していくこと
  - (1) 多様な主体の協働を進める仕組みづくり
  - (2) 地域づくりを推進する仕組みづくり
  - (3) みんなが議論する話し合いの仕組みづくり
  - (4) 新しいお金の流れを事業支援に活用する仕組みづくり
  - (5) 新しい形の共助を構築する仕組みづくり
  - (6) 情報共有・活用を図る仕組みづくり
  - (7) 協働の担い手を育成・確保する仕組みづくり
  - (8) 市が保有する情報を活用して課題を解決する仕組みづくり
  - (9) 先端技術を活用した地域課題を発見・解決する仕組みづくり
- ・ 「(仮称)長浜市市民協働のまちづくり推進条例」の制定と「長浜市市民協働推進計画」の全面改定により、協働推進を担保すること
- ・ 条例には、協働の基本理念と各主体の役割、特に市の役割について規定すること
- ・ 多様な主体の協働を推進するうえでの最重点事項として、以下の3つの制度設計に早急に着手すること
  - (1) 協働推進体制の中核を担う中間支援組織の設立
  - (2) 多様な主体が連携した新しいお金の流れの創出
  - (3) 各主体からの提案に基づき、多様な主体の連携のもとで地域の社会課題解決を目指す「市民協働事業」の制度化
- ・ 9つの仕組みづくりを段階的かつ着実に進めるため、推進体制の整備を図るとともに、計画の進捗管理を行い、必要な見直しを講じること

<長浜市市民協働推進会議における審議経過>

日付	会議名	審議内容
5月31日	第1回	・長浜市市民協働推進会議への諮問について ・諮問趣旨および長浜市市民自治基本条例について ・市民協働の推進に向けた仕組みと体制の構築について
7月10日	第2回	・市民協働の推進に必要な仕組み（案）について ・（仮称）長浜市市民協働のまちづくり推進条例骨子（たたき台）について
8月28日	第3回	・アンケート調査等の実施状況について ・（仮称）長浜市市民協働のまちづくり推進条例案の検討について
10月9日	第4回	・アンケート調査集計結果について ・（仮称）長浜市市民協働のまちづくり推進条例（案）中間とりまとめについて ・長浜市市民協働推進計画骨子（たたき台）について
10月21日	第5回	・（仮称）長浜市市民協働のまちづくり推進条例（案）について
11月27日	第6回	・中間支援組織について ・新しいお金の流れの創出について
12月11日	第7回	・市民協働事業について
12月25日	第8回	・答申案について ・長浜市市民協働推進計画の検討状況について

<長浜市市民協働推進会議委員名簿>

氏名	主な所属・肩書等	区分
川瀬 寛子 (かわせ ひろこ)	長浜市図書館協議会、長浜市青少年問題協議会委員 お話しボランティア活動等を実践	公募委員
板山 きよ美 (いたやま きよみ)	特定非営利活動法人 STUDIO こほく代表理事	市民活動団体 関係者
中山 郁英 (なかやま いくえい)	元ながはま市民活動センターコーディネーター 一般社団法人滋賀人代表理事	
大橋 松行 (おおはし まつゆき)	長浜市連合自治会長（令和元年度）	
國友 喜代則 (くにとも きよのり)	余呉地域づくり協議会事務局長 兼長浜市地域活性化プランナー	地域活動団体 関係者
森川 稔 (もりかわ みのる)	滋賀県立大学地域共生センター特任准教授	
西川 実佐子 (にしかわ みさこ)	特定非営利活動法人しがNPOセンター理事・事務局長	市長が適当と 認める者
東 登志也 (あずま としや)	公益財団法人淡海文化振興財団常務理事兼事務局長	

